

# 子持ち夫婦4割強、寝室別々

## リビング・テクノロジーズ調べ

不動産関連の比較査定サイト「リビングマッチ」を運営するリビング・テクノロジーズ（東京都中央区、川合大無社長）は1月8日、30歳以上で妻子を持つ全国268人を対象に「夫婦の寝室事情」について調べたところ、

子持ち夫婦の42・5%が「寝室が別々」だと回答した。夫婦の寝室が別れるのは結婚10年目が最多だった。

自宅の間取りを聞いたところ寝室が「同室」の場合4LDK(29・9%)、3LDK(20・1%)、

6LDK(8・4%)、5LDK(7・8%)となった。

一方、「別室」の場合3LDK(31・6%)、4LDK(18・4%)、5LDK(11・4%)、6LDK(9・6%)だった。別室よりも同室の方が自宅の間取りに若干余裕があることがわかった。寝室が別室の理由は、「ゆっくり寝たい」(43・9%)と「配偶者と生活のリズムが異なる」(38・6%)との回答が多く、「配偶者とプライベートを分けたい」(17・5%)、「配偶者のいびきがうるさい」(13・2%)、「配偶者が子どもと寝る」(12・3%)、「配偶者と仲が悪い」(4・4%)などと続いた。